

常任委員会報告

総務文教厚生委員会

■今定例会の審議結果

審査の結果、議案9件について全て可決しました。継続審査となっていた陳情1件を一部採択し、意見書案第2号を提出しました。

第3次勝山市地域福祉計画策定について

誰もが安心して暮らせる、人にやさしいすこやかなまちづくりを基本理念とする第3次勝山市地域福祉計画が来年度4月から平成33年3月までの5カ年に亘って実施されます。理事者からは、「今回の地域福祉計画については、ほぼ第2次の内容を踏襲するが、新たに施行された生活困窮者の自立支援制度への取り組み、避難行動要支援計画などに基づく要支援者への支援、地域の見守り活動等を新たに取り込んで作成した」との説明がありました。委員からは、「重点と変更点がわかるようにしてはどうか」「目玉として先頭のページに記載しては」との意見が出され、理事者は、「パブリックコメントでの意見とともに、どのような形で反映できるか検討する」と回答しました。

がん検診の変更について

国が市町村に推奨する胃がん・乳がん検診の基準が変更になります。また、平成28年度からは個人負担金を徴収と

説明がありました。肺がん検診はこれまで同様無料ですが胃の透視や子宮がん・乳がん検診は1,000円、大腸がん検診は500円とする予定です。その代わりに胃カメラについては、これまで全額自己負担でしたが2,000円で受診できるようにになります。委員からは受診率向上の観点から「これまで同様に無料で実施しては」「胃カメラの受診が安くなった点は評価できる」「変更内容について市民への周知を徹底するように」等の意見がありました。

建設産業委員会

■今定例会の審議結果

審査の結果議案9件について全て可決しました。

「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク専門員の募集」について

平成25年の再認定審査時には、運営組織や事務局体制の不備が指摘され条件付き再認定となりました。これらを改善して11月の再認定審査に臨んだ結果、12月14日に「日本ジオパーク」に再認定されました。「今後さらにジオパークを推進するため、ジオパーク専門員を募集したい」と報告がありました。募集期間は平成28年2月29日までです。

「定住化促進事業（中古住宅取得）」新規補助事業について

平成28年度以降の次期福井県地域住宅整備計画による事業の中で、U・I

ターナー空き家住まい支援事業として、U・Iターナー者が、空き家情報バンクに登録されている市内住宅を取得・リフォーム工事した場合、これまでの勝山市の補助金に加え、取得、リフォーム工事併せて最大で100万円が上乗せされる新しい補助事業を実施したいと報告を受けました。これによりU・Iターナー者の増加を期待することです。

「TOYOTA GAZOO Racing（トヨタガズーレーシング）ラリーチャレンジ」 in 恐竜勝山の開催支援について

勝山市全体の多彩な魅力の発信や、スキージャム勝山の知名度の向上等を目的とし、TOYOTAレーシング部門が全国各地で開催するラリーチャレンジ（年間16戦の予定）が、平成28年10月にスキージャム勝山駐車場や林道法恩寺線を使用し開催されます。委員からは、支援の方法について質問があり、「今後、市・市内企業・団体を構成員とする、(仮称)勝山ラリー支援委員会を立ち上げる」との答弁がありました。

予算委員会

予算委員会では平成27年度勝山市一般会計補正予算（第4号）について審査しました。

まちなか観光産業化計画策定補助金について

勝山商工会議所が中心となって検

討している勝山市版DMO（仮称）観光まちづくり会社設立支援のため、計画策定にかかる調査費補助金として50万円、まちなか周遊観光促進のための旧料亭花月楼活用等に関する調査費補助金として150万円が計上されました。委員会では、多くの委員から2つの調査が「今年度末までに終了するのか」、などの厳しい意見が出され、勝山商工会議所の専務理事から意見を聞いた上で、承認しました。

LED街路灯設置補助金について

LED街路灯設置補助金は、「申請件数増加に伴い増額しているが、今後この事業は継続されるのか」との質問には「継続していく」との答弁でした。また「街路灯への遮へい板設置に対する補助はあるか」との質問に、本事業では対象にならないが今後検討するとしています。

職員の時間外勤務手当について

職員の時間外勤務について、約2,100万円増額する予算が計上されました。時間外勤務の増加について、「職員の健康管理上問題があるのではないか」との指摘について、「国の制度変更等の対応に迫られて時間外勤務が増えた部課が生じている。時間外勤務が1カ月80時間を超えない、3カ月連続で月45時間以上とならない、年間の残業時間360時間を超えないよう指導している。今後は職員の健康を第一に考え、部課長で打ち合わせを行いさらに改善に努める」とのことでした。